

事務の管理及び執行状況 の点検・評価実施報告書

(令和元年度実績)



由利本荘市教育委員会キャラクター
「学ぶん」

令和3年2月
由利本荘市教育委員会

目 次

1	点検・評価の趣旨等	1
2	点検及び評価の概要	1
3	学識経験者の知見の活用	1
4	教育委員会の活動状況	2
	(1) 会議の開催状況	
	(2) 教育委員の活動状況	
	(3) 計画の策定状況	
	(4) 市民への情報提供の状況	
5	主要施策・事業等の実施状況と評価	8
	【学校教育部門】	
	(1) 確かな学力の形成	8
	(2) 開かれた学校づくり	10
	【社会教育部門】	
	(1) 読書の大切さの啓発と読書活動の推進	11
	(2) 生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	13
	(3) 社会教育施設の管理運営	15
	【スポーツ振興部門】	
	(1) 生涯スポーツ・レクリエーション・体力づくりの推進	16
	(2) スポーツ施設の整備充実	17
	(3) プロスポーツチームへの支援とチームとの連携による スポーツ振興	18
	【文化振興部門】	
	(1) 芸術文化の振興	19
	(2) 文化財保護活動の推進	21
	【教育環境整備部門】	
	(1) 学校環境適正化の推進	22
	(2) 学校施設の整備	24

1 点検・評価の趣旨等

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定に基づき、平成20年4月から、全ての自治体の教育委員会自らが、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務づけられました。

由利本荘市教育委員会においては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、平成21年度(20年度実績)から事業の点検及び評価を実施し、報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表しております。

今年度においても、同法の趣旨を踏まえ、各教育分野の施策及び重点事業等の執行状況について点検及び評価を行い、今後、より効率的な教育行政の推進を図っていくものです。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に関する事務(同条第4項の規定により事務局職員に委任された事務を含む。)を含む)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条」で、教育委員会の職務権限とされている事務のほか、教育委員会で所管するすべての事務を対象としますが、点検・評価にあたっては、『由利本荘市の教育』に掲げる施策を12項目15事業に集約し、実施しております。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験を有する者の知見の活用について、本市教育委員会では、由利本荘市社会教育委員の会会長の伊藤孝紀氏、由利本荘市PTA連合副会長の佐々木久氏にご意見をいただいております。

4. 教育委員会の活動状況

(1) 会議の開催状況

期 日	付 議 案 件	
H31. 4. 26 (定例会)	議案第17号 由利本荘市立学校施設等の使用に関する条例の一部改正について	
	議案第18号 由利本荘市石沢地区多目的集会施設条例の一部改正について	
	議案第19号 由利本荘市公民館条例の一部改正について	
	議案第20号 由利本荘市立志館条例の一部改正について	
	議案第21号 由利本荘市東由利陶芸工房条例の一部改正について	
	議案第22号 由利本荘市ボートプラザ「アクアパル」条例の一部改正について	
	議案第23号 由利本荘市社会教育コミュニティセンター条例の一部改正について	
	議案第24号 由利本荘市「紫水館」条例の一部改正について	
	議案第25号 由利本荘市ふるさとセンター条例の一部改正について	
	議案第26号 由利本荘市総合開発センター条例の一部改正について	
	議案第27号 由利本荘市地域農業総合管理施設条例の一部改正について	
	議案第28号 由利本荘市市民交流学習センター条例の一部改正について	
	議案第29号 由利本荘市文化交流館条例の一部改正について	
	議案第30号 由利本荘市鳥海山木のおもちゃ美術館条例の一部改正について	
	議案第31号 由利本荘市郷土資料館条例の一部改正について	
	議案第32号 由利本荘市民俗芸能伝承館条例の一部改正について	
	議案第33号 由利本荘市どまらんど大内条例の一部改正について	
	議案第34号 由利本荘市B&G海洋センター条例の一部改正について	
	議案第35号 由利本荘市テニスコート条例の一部改正について	
	議案第36号 由利本荘市公園設置条例の一部改正について	
	議案第37号 由利本荘市都市公園条例の一部改正について	
	議案第38号 由利本荘市健康増進施設に関する条例の一部改正について	
	議案第39号 由利本荘市営スキー場条例の一部改正について	
	議案第40号 由利本荘市コミュニティセンター条例の一部改正について	
	議案第41号 由利本荘市運動公園条例の一部改正について	
	議案第42号 由利本荘市運動公園条例施行規則の一部改正について	
	議案第43号 由利本荘市体育館条例の一部改正について	
	議案第44号 由利本荘市体育館条例施行規則の一部改正について	
	議案第45号 由利本荘市野球場条例の一部改正について	
	議案第46号 由利本荘市野球場条例施行規則の一部改正について	
	議案第47号 由利本荘市社会教育委員の委嘱について	
	議案第48号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について	
	議案第49号 由利本荘市スポーツ推進委員の委嘱について	
	議案第50号 由利本荘市資料館協議会委員の委嘱について	
	報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・教育関係指導員配置について ・市内小中学校生徒指導関係事案一覧について ・学校空調設備整備事業について

		<ul style="list-style-type: none"> ・給食費の公会計化について ・ナイスアリーナ利用状況等について ・チャレンジデー2019について ・主な工事の状況（契約状況等） ・事業・行事等の報告及び予定事項 ・イチェリスティコンサートについて ・ハンガリー関連 こけし絵付け体験について
H31. 5. 15 (臨時会)	議案第51号 協 議	学校空調設備設置工事（電気式）請負契約の締結について ・教育関係指導員配置について（異動）
R元. 5. 27 (定例会)	議案第52号 議案第53号 議案第54号 議案第55号 議案第56号 報 告	由利本荘市教育支援委員会委員の委嘱について 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 由利本荘市ボートプラザ運営委員会委員の委嘱について 由利本荘市図書館協議会委員の委嘱について 由利本荘市スポーツ推進委員の委嘱について ・由利本荘市立学校における部活動の方針 ・県外等からの学校視察・行政視察、招聘 ・文化財の寄贈について ・事業・行事等の報告及び予定事項 ・令和元年度教育委員会行事予定表
R元. 6. 28 (定例会)	議案第57号 報 告	由利本荘市民俗芸能伝承館運営協議会委員の委嘱について ・学校空調設備設置工事工程表 ・中学校部活動指導員配置事業について ・市内小中学校生徒指導関係事業一覧 ・学ぶん・チャレンジ・プログラムツアー ・幼稚園・保育所等における特別支援教育コーディネーター研修会 ・The World of Songs 歌曲の世界（8/31 アクアパル） ・子吉川フェア（7/7 アクアパル） ・チャレンジデー2019結果 ・2020東京オリンピック聖火リレー（県内） ・市立図書館・図書室キャラクター ・事業・行事等の報告及び予定事項
R元. 6. 28 (臨時会)	議案第58号 報 告	由利本荘市教育委員会委員の議席指定について ・由利本荘市教育委員会教育長職務代理者の指名について
R元. 7. 24 (協議会)	協 議	1. 脊柱側湾症に係る損害賠償請求事件について 2. 矢島小学校の改築に向けた状況について
R元. 7. 24 (定例会)	議案第59号 議案第60号 議案第61号	由利本荘市学校給食に関する条例の制定について 由利本荘市文化財保護審議会委員の委嘱について 由利本荘市図書館条例施行規則の一部改正について

	<p>報 告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動指導員研修会 (7/7 秋田市役所) ・県外からの学校視察・行政視察、招聘 ・市内小中学生生徒指導関係事案一覧 ・中学生と管内企業のふれあいPR事業 (7/19 ナイスアリーナ) ・令和元年度教科書展示会 (6/14～29 中央図書館) ・事業・行事等の報告及び予定事項 <p>議案第62号 (議案上程取消)</p>
R元. 8. 19 (定例会)	<p>議案第63号 由利本荘市立小学校統廃合による学校施設の選定及び統合の時期について</p> <p>議案第64号 物品(給食配送用車両)購入契約の締結について</p> <p>報 告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小友小学校・石沢小学校統合準備委員会の設置について ・矢島学園構想について ・新山小学校改築事業基本設計業務委託の締結 ・北部学校給食センター開所準備の進捗 ・学校給食公会計化 ・学校パソコン機器の更新 ・市内小中学校の主な取組・功績等 ・由利本荘市・にかほ市夏季教職員研修会の開催 ・市内小中学校生徒指導関係事案 ・県外等からの学校視察・行事視察 ・地域未来塾(学ぶんスペース) ・子吉川レガッタ2019 (9/28・29) ・全国市町村交流レガッタ本市代表クルー (9/28・29) ・秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン! 鹿角大会 (10/6) ・事業・行事等の報告及び予定事項
R元. 9. 27 (定例会)	<p>報 告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西目小学校グラウンド等整備(完了) ・学校空調設備設置工事(完了) ・岩城小学校敷地沈下状況について ・脊柱側湾症に係る損害賠償請求に関する件について ・全国学力・学習状況調査結果(概要) ・県外等からの学校視察・行政視察 ・青少年健全育成標語コンクール(主催:青少年育成由利本荘市民会議) ・第59回奥羽横断駅伝競走大会(10/26・27) ・事業・行事等の報告及び予定事項
R元. 10. 31 (定例会)	<p>議案第65号 由利本荘市立小学校の改築について</p> <p>議案第66号 公の施設の指定管理者の指定について</p> <p>報 告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢島小学校移転改築(10/16 住民説明会資料) ・本荘地域学校再編委員会(要綱、委員) ・幼稚園・保育所等における特別支援教育コーディネーター研修会 ・市内小中学校生徒指導関係事案 ・県外等からの学校視察・行政視察

		<ul style="list-style-type: none"> ・体感型防災アトラクション・ライフライン(11/2 ナイスアリーナ) ・ミズノスポーツまつり11/4 ナイスアリーナ) ・小松耕輔音楽兄弟顕彰市民音楽祭 (11/9 カダーレ) ・事業・行事等の報告及び予定事項
R元. 11. 26 (定例会)	<p>議案第 6 7 号 由利本荘市教育の振興に関する施策の大綱について ※議案第 6 7 号は継続審議とする。</p> <p>議案第 6 8 号 令和 2 年度由利本荘市立小・中学校教職員の人事異動方針について</p> <p>議案第 6 9 号 由利本荘市学校給食費に関する条例施行規則の制定について</p> <p>報 告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学生の主な取組・功績等 ・市内小中学校生徒指導関係事案 ・県外等からの学校施設・行政視察 ・科学フェスティバル (11/30 総合体育館) ・地域学校協働活動文部科学大臣表彰 西目小学校 ・さまざまな展示会 (12/3～7 アクアパル) ・秋田マーチング&バトンshow (12/1 ナイスアリーナ) ・バドミントンS/J LEAGUE (12/7、ナイスアリーナ) ・民俗芸能大会 (12/7 カダーレ) ・事業・行事等の報告及び予定事項
R元. 12. 23 (定例会)	<p>議案第 6 7 号 由利本荘市教育の振興に関する施策の大綱について (継続審議)</p> <p>報 告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の進捗状況 ・市内小中学校生徒指導関係事案 ・県外等からの学校視察・行政視察 ・科学フェスティバル報告 ・箕面市中中学生交流事業・訪問団研修報告 ・由利本荘市成人式 (1/12 カダーレ) ・東京オリンピック聖火リレー (6/9 本市子吉川他) ・事業・行事等の報告及び予定事項
R2. 1. 28 (定例会)	<p>議案第 1 号 由利本荘市学校給食共同調理場条例の一部改正について</p> <p>報 告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市いじめ問題対策連絡協議会の開催 ・冬季教職員研修会の実施 ・市内小中学校私費会計の経理検査 ・中学生会議の開催 ・市内小中学校生徒指導関係事案 ・県外等からの学校施設・行政視察 ・柿崎竹実コンサート (2/29 アクアパル) ・由利本荘市アリーナ(ナイスアリーナ) 移動観覧席の増設について ・第 1 5 回由利本荘市美術展 (2/1～5 カダーレ) ・事業・行事等の報告及び予定事項
R2. 2. 5 (臨時会)	<p>議案第 2 号 事務の管理及び執行状況の点検・評価実施報告書(平成30年度実績)</p> <p>議案第 3 号 物品(北部学校給食センター備品) 購入契約の締結について</p>	

	報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・小友小学校・石沢小学校統合準備委員会の協議報告 ・市教育の振興に関する施策の大綱 ・新山小学校改築事業（協議中の配置案） ・市行政評価外部評価実施報告書 ・不登校児童生徒の現状
R2. 2.25 (臨時会)	議案第 4号 議案第 5号	令和元年度末由利本荘市立小中学校教職員の人事異動について 教育長の辞任の同意について
R2. 2.27 (協議会)	協 議 報 告	1. 新型コロナウイルス感染に係る卒業式の取り扱いについて ・新山小学校改築案について ・本荘地域学校再編委員会の協議内容について
R2. 2.27 (定例会)	議案第 6号 報 告	物品（由利本荘アリーナ移動観覧席）購入契約の締結について ・市内小中学校生徒指導関係事案 ・県外等からの学校視察・行政視察 ・次期由利本荘市生涯学習推進・社会教育中期計画策定の進捗状況 ・秋田ノーザンハピネッツの公式戦（3/7・8 ナイスアリーナ） ・スポーツ推進委員について ・事業・行事等の報告及び予定事項
R2. 3.27 (協議会)	協 議	1. 脊柱側湾症にかかる損害賠償請求事件について
R2. 3.27 (定例会)	議案第 7号 議案第 8号 議案第 9号 議案第 10号 議案第 11号 議案第 12号 議案第 13号 議案第 14号 議案第 15号 議案第 16号 議案第 17号 報 告	由利本荘市立小学校統廃合による校名、校章及び校歌について 由利本荘市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 由利本荘市教育委員会事務局及び学校以外の教育機関の職員辞令式規則の一部改正について 由利本荘市立小中学校管理規則の一部改正について 由利本荘市社会教育指導員設置規則の一部改正について 由利本荘市理科教育センター条例施行規則等の一部改正について 自署及び事務効率化により押印を省略することに伴う関係規則の整理に関する規則について 第4次由利本荘市生涯学習推進・社会教育中期計画について 令和2年度由利本荘市の教育について 令和2年3月31日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について 令和2年4月1日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について ・新型コロナウイルス感染症対策について ・県外等からの学校視察・行政視察 ・市内小・中学校の主な取組・功績等 ・2020チャレンジデー（5/27） ・西目カントリーパークサッカー場等使用規則の一部改正について ・事業・行事等の報告及び予定事項
R2. 3.28 (臨時会)	議案第 18号	新型コロナウイルス感染症に伴う今後の学校の対応について

(2) 教育委員の活動状況

①学校訪問

月 日	訪 問 校	月 日	訪 問 校
6月11日	小友小	7月17日	岩谷小・大内中
6月12日	西目小・西目中	7月18日	矢島中・鳥海中
6月13日	矢島小	7月19日	本荘南中
6月18日	新山小	10月23日	鶴舞小
6月19日	鶴舞小	10月29日	本荘北中
6月20日	鳥海小	10月30日	本荘南中
6月21日	子吉小	11月 8日	岩谷小
6月25日	東由利小・東由利中	11月12日	小友小
6月26日	岩城小・岩城中	11月13日	岩城小
6月27日	大内小	11月15日	東由利小
7月 8日	本荘北中	11月18日	岩城中
7月 9日	由利小・由利中	11月20日	鳥海中
7月12日	尾崎小	11月21日	西目小・西目中
7月16日	石沢小・本荘東中	11月22日	新山小

②諸会議・研修等 【教育長・教育委員】

月 日	会 議 名 等	場 所	出 席 者
5月15日	秋田県都市教育長協議会 秋田県市町村教育委員会連合会総会	秋田市/秋田市役所 "	教育長 "
5月22-23日	全国都市教育長協議会	富山県/富山国際会議場	教育長
5月31日	全県市町村教育委員会連合会 第1回定期総会	秋田市/秋田市役所	教育長
8月22日	秋田県市町村教育委員会連合会第2回総会 秋田県市町村教育委員会教育長会議	秋田市役所 県庁第2庁舎	教育長
11月6日	B & G 全国教育長会議	港区赤坂/日本財団ビル	教育長
11月11日	秋田県市町村教育委員会連合会 及び 秋田県都市教育長協議会合同会議	秋田市/秋田市文化会館	教育長/教育委員
1月21日	B & G 全国サミット	港区三田/笹川記念会館	市長 / 教育長

(3) 計画の策定状況

「由利本荘市教育の振興に関する施策の大綱〈令和2～6年度〉」	令和 2年2月策定
「第4次由利本荘市生涯学習推進・社会教育中期計画〈令和2～6年度〉」	令和 2年3月策定
「由利本荘市スポーツ振興計画〈平成28～令和6年度〉」	平成28年9月策定
「由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画」	平成31年3月策定

(4) 市民への情報提供の状況

- ・市広報及び市ホームページを活用して情報を提供している。

		分野	学校教育部門
項目	(1) 確かな学力の形成	担当課	学校教育課
点検・評価対象事業名		②特別支援教育及び就学前教育等への支援	
事業の目的			
<p>○早期からの教育相談体制を整備し、子どもや保護者に寄り添った支援を継続していくことで「0歳から就労まで」の切れ目ない支援体制を構築する。</p> <p>○健康福祉部三課（子育て支援、健康管理、福祉支援）と連携して情報共有を図り、子どもや保護者の実態に応じた支援を行う。</p>			
事業の実施状況			
<p>○「5歳児健康相談」における教育相談の実施</p> <p>○「幼稚園・保育所等における特別支援教育コーディネーター研修会」の開催</p> <p>○就学支援員及び学校間連携コーディネーターの配置</p> <p>○学校生活サポート等の配置</p>			
点検評価及び説明		<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○「5歳児健康相談」における教育相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内すべての5歳児（年中児）を対象とした健康相談において、健康管理課、子育て支援課との連携により教育相談を実施し、情報の共有化を図った。 ・遊びの様子を観察したり、発達検査の結果を共有したりしながら、保健師や保育士、臨床心理士、教育専門監と連携し、子育てや就学に関する支援方法を検討した。 ・必要な情報をまとめ、就学に向けた相談や支援に活用できる資料を作成し、保護者や各園、就学先の学校等に提供した。 <p>○「幼稚園・保育所等における特別支援教育コーディネーター研修会」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育所、認定こども園の職員を対象に、年3回の特別支援教育コーディネーター養成研修会を実施した。より支援学校の教育専門監や県の指導主事による講義等を通して、障害をもつ子どもの特性や関わり方、保護者への支援の在り方等について、理解を深めた。 <p>○就学支援員及び学校間連携コーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育所、認定こども園等から小学校への円滑な就学に向けて、就学支援員を配置した。入学後に特別な支援を必要とする園児の小学校での教育相談に同行したり、「学ぶんファイル」の作成や活用を勧めたりして、円滑な引継ぎを行った。また、幼児通級指導教室（さくら教室）では、支援を必要とする子どもに対し、実態に応じて、小学校入学後の活動につながる個別指導を実施した。 ・小学校から中学校、中学校から高校への引継ぎを確実にを行うために、学校間連携コーディネーターを配置した。児童生徒や保護者と面談を行うことで進路に関する情報を提供したり、助言したりした。また、『引継ぎシート』を活用した学校間の円滑な引継ぎを実施した。 <p>○学校生活サポート等の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の実情や児童生徒の教育的ニーズに応じた学校生活サポート等の配置を行った。また、4月に行われた県主催の研修会に同行し、研修の様子や参加者の考えを把握した。 			
今後の課題及び改善策・方向性			
<p>○「幼稚園・保育所等における特別支援教育コーディネーター研修会」は、障害のある園児への支援方法や体制づくりに関する知識・技能等を習得するよい機会となっている。平成27年度から継続して行っている事業であり、各園のコーディネーターの数も増えてきていることから、今後の研修の在り方を検討し更なる研修の充実を目指す。</p> <p>○就学支援員や学校間連携コーディネーターの配置により就学の引継ぎが円滑に進んだ。しかし、一部の園や学校での支援にとどまっているので、成果の周知を図り、更なる事業の充実を目指す。</p>			
学識経験者の意見			
<p>○学校生活サポートは、非常に大切な役割を担っている。この取組に感謝したい。</p> <p>○学校間連携コーディネーターの取組に対し、保護者からの感謝の声が非常に多いと聞いている。「目標を大きく上回る」評価は妥当である。</p> <p>○三課連携しての5歳児健康相談は素晴らしい取組であり、成果が現れている。高く評価したい。</p> <p>○きめ細かい指導を行っている就学支援員の役割は非常に大切である。高く評価したい。</p>			

		分 野	学校教育部門
項 目	(2)開かれた学校づくり	担 当 課	学校教育課
点検・評価対象事業名	コミュニティ・スクール		
事業の目的	<p>○社会総掛かりで教育を実現する上で、地域でどのような子供たちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民等と共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域と共にある学校」の推進を図る。</p>		
事業の実施状況	<p>○各小・中学校の「学校運営協議会」及び中学校区ごとの「地域運営協議会」の計画的な開催</p> <p>○各学校運営協議会における具体的な目標の検討、周知、評価と改善</p> <p>○「市CS連絡協議会」を中心とした、各地域運営協議会の活性化</p>		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
	<p>○「学校・地域運営協議会」の計画的な開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度よりすべての小・中学校に学校運営協議会を設置しており、地域との組織的な連携・協働体制を構築することができている。そのため、各学校及び中学校区・地域の課題を共有し、当事者意識をもった取組ができるようになってきた。 <p>○学校運営協議会における具体的な目標の検討、周知、評価と改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが抱えている課題、地域でどのような子供たちを育てていくのか、どのようなことに取り組んでいくのかなどについて検討し、通信等を活用して保護者や地域住民と情報を共有することができた。また、評価を実施することで、次年度の方向性について、学校や地域の実態に応じて検討を加え、改善できた。 <p>○各地域運営協議会の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市CS連絡協議会」では、各地域運営協議会の実践報告や、県立大学の嶋崎真仁准教授及び前文部科学大臣補佐官の鈴木寛氏による基調講演などを通して、今後の実践に向けて参考となる内容について研修することができた。 		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○学校運営協議会委員、学校ボランティア等として参画しているメンバーの世代交代が進みつつあることから、今後は人材確保が課題となる。</p> <p>○コミュニティ・スクールの定着に伴い、市CS連絡協議会を中心とした枠組みから、各学校運営協議会の主体性・創意工夫を重視した体制への転換が望まれる。</p> <p>○学校運営協議会において実施が決定される事業等について、現状では、教職員が中心となって企画・運営している。今後は、協議会委員が中心となり、学校と学校支援地域本部等とが連携を図りながら推進していくよう提案していきたい。</p>		
学識経験者の意見	<p>○学校と地域がより強く深く連携し、学校運営協議会や地域運営協議会等を通して実践している各学校独自の特徴的な取組を、市CS連絡協議会を通して外部指導者の評価・指導を受けていることは、高く評価できる取組である。</p> <p>○継続して行うことも大切であるが、地域・PTAと連携した新たな取組にも期待する。また各学校の取組を市民にもっと広く知っていただく取組にも期待したい。</p>		

		分野	社会教育部門
項目	(1)読書の大切さの啓発と読書活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名		子どもの読書活動推進事業	
事業の目的			
<p>○子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、家庭、地域、保育園、幼稚園や学校と連携し相互に協力を図りながら市民全体への啓発活動に取り組む。</p> <p>○「由利本荘市子どもの読書活動推進会議」と連携し、全ての地域での読み聞かせ事業を展開しながら子ども読書、親子読書の活動を推進する。</p>			
事業の実施状況			
<p>○会議・研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年5月16日 第1回企画部会 ・令和元年6月6日 第1回子どもの読書活動推進会議 ・令和元年6月20日 研修部会 ・令和元年10月1日 ボランティア部会 ・令和元年11月18日 広報部会 ・令和2年2月13日 第2回子ども読書活動推進会議 <p>○事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年8月5日 読み聞かせ研修会 ・令和元年10月12日 おはなしフェスティバル開催 ・令和2年2月 「心にとどけスマイル便第13号」発行 「スマイルひろがり便第4号」発行 <p>○読み聞かせボランティア派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年 <ul style="list-style-type: none"> 7月 29日 (尾崎児童クラブ) 9月 18日 (下川大内保育園)、30日 (石脇西保育園) 10月 7日 (本荘保育園)、23日 (内越保育園)、28日 (石脇北保育園) 31日 (風の子保育園) 11月 14日 (石沢保育園)、28日 (子吉保育園)、29日 (石脇東保育園) 12月 3日 (小友保育園)、20日 (風の子保育園)、23日 (本荘保育園) ・令和2年 <ul style="list-style-type: none"> 1月 16日 (ゆり保育園)、17日 (ゆり保育園)、29日 (本荘幼稚園) 1月 21日 (中央保育園) <p>○図書館を使った調べる学習コンクール関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年7月7日 図書館を使った調べる学習コンクール関連講座 ・令和元年11月10日 第2回由利本荘市調べる学習コンクール表彰式 <p>○由利本荘市図書館キャラクター関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年7月1日～8月12日 名称の公募 ・令和元年8月31日 名称発表セレモニー 			
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
<p>○各部会の活動は積極的になされており、成果も上がっている。</p> <p>○市内在住の絵本作家・えばたえり氏を講師に、読み聞かせ研修会を開催した。高校生の参加も得られるなど広く交流をはかる事ができた。(参加者50名)</p> <p>○保護者向けチラシ「心にとどけスマイル便第13号」及び、子どもの読書活動推進会議広報誌として「スマイルひろがり便第4号」を発行した。</p> <p>○「第2回由利本荘市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催した。(応募者15名)</p> <p>○図書館への親近感を持ってもらうため、職員がデザインした「図書館キャラクター」の名称を公募した。今後、各種印刷物、掲示物等への活用を図る。</p>			

今後の課題及び改善策・方向性

- 会長と各部の部長等で構成する企画部会を開催し、推進会議全体の方向性や活動の改善点などについての協議を行うことができた。年間計画やボランティア団体間の情報共有を行いながら読書活動の推進に努める必要がある。読み聞かせの活動団体等が図書館、保育園・幼稚園、学校、地域と連携して活動ができるよう支援が必要である。
- 市子どもの読書活動推進会議が実施している研修会については、子どもたちに関わる現場の保育士の方々の参加も引き続き呼びかけたい。また、若い世代の参加についても配慮したい。
- 「図書館を使った調べる学習コンクール」については、審査基準など応募に必要な要件や調べ学習のコツ、効果的な講座の開催など、これまで以上に早い時期から学校等に向けて十分な周知活動を行う必要がある。

学識経験者の意見

- 「図書館を使った調べる学習コンクール」は、秋田県では二市のみの取組である。先進的で大変意義のある取組であり、評価したい。年々参加者が増えていることから、今後も周知に努め、継続して頂きたい。
また、県がカダーレを会場に行っている「ビブリオバトル」についても、研究を深めて頂きたい。
- 25万4千冊の蔵書数を誇る県内有数の中央図書館であり、個人への貸出冊数も県内で最も多い。日頃の読書活動推進の取組を高く評価したい。
- 読み聞かせの活動は非常に大切な取組であり、ボランティア活動に感謝するとともに、今後の積極的な活動に期待したい。
- 図書館の様々な取組を、より多くの市民に知っていただくことも大切である。今以上に周知活動に努められ、活発な幅広い活動に期待したい。

		分野	社会教育部門
項目	(2)生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名		学社連携・融合の推進事業	
事業の目的		<p>○地域社会全体で子どもたちを育むことを目的に、子どもの学習支援を中心に各機関・団体・学校等との連携を深め、ボランティア等地域の人材の活用を積極的に図りながら地域の教育力の向上を図る。</p>	
事業の実施状況		<p>○【継続事業】放課後子ども教室（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後の子どもの安心・安全な居場所として、学習を中心とした活動を実施。 ・市内小学校14校（14教室）で通年開設。 ・延べ開催回数 1,136回、延べ参加児童数 41,773人、延べスタッフ数 3,874人 ・事業費総額 6,671千円 <p>○【継続事業】学校支援活動（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援、環境整備、安全確保、図書ボランティア、学校行事などに地域住民が積極的に参画し学校の活動を支援。 ・中学校単位で10本部を設置し、市全小中学校（小学校14校、中学校10校）が対象。 ・活動時間数 928時間、延べボランティア人数 4,637人 ・事業費総額 1,079千円 <p>○【継続事業】地域未来塾（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や大学生の協力による無料学習支援の場づくり。 ・市内全中学校生徒（中学校10校）を対象。 ・活動日数 32日、希望者数 104人、延べ参加生徒数 688人 ・事業費総額 514千円 	
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○放課後子ども教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29国の補助事業を活用し整備したタブレット端末（6教室・73台）のさらなる有効活用を図るとともに、効果や課題については今後もアンケート等で随時検証していく。 <p>○学校支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の要請を受け地域コーディネーターと学校支援ボランティアが連携し、学習環境整備・学校行事等を支援した。認知度も高くなっている。 <p>○地域未来塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基礎学力の定着」、「学ぶ喜びの醸成」など様々な喜びのある「学び舎」を目指した。参加希望者が前年度よりさらに増加し、事後アンケートでは「指導者の配置」「学習に集中できる」等、好評であり、評価が高い事業となっている。 			

今後の課題及び改善策・方向性

○放課後子ども教室

・地域により活動時間、内容の差がある。また、スタッフの高齢化等による後継者不足が進んでいる。今後は地域人材の確保と育成が課題である。

○学校支援活動

・コミュニティ・スクールとのより一層の連携が重要。多数の地域住民に参画いただくため、住民意識の醸成、意欲ある活動者の確保が必要となる。

○地域未来塾

・本年はカダーレのほか、日新館、岩城会館、東由利公民館にも会場を設けたが、参加希望が無いか少ないところがあり、検討が必要である。

学識経験者の意見

○これら3事業は、意義のある内容の濃い事業である。高く評価したい。スタッフの高齢化などでボランティアの確保が難しいなど、いろいろ課題も多いが、参加者が年々増加しており、ニーズの高い大切な事業である。今後も継続して取り組んで頂きたい。

○県立大学の学生と連携して行っている地域未来塾は、参加者の急増もあり、運営に苦慮する面もあると思うが、意義のある大切な事業である。参加者からの「非常によかった」との声を励みに、継続して取り組んで頂きたい。

○放課後子ども教室は、それぞれ特徴的な取組を実践して頂いている。開催場所、環境、スタッフの状況に合わせ、今後も開催時間や内容を工夫し、継続して取り組んで頂きたい。非常に大切な事業であることから、教員免許を持っている保護者の協力も頂きながら、継続して行ってほしい事業である。

など、地域の方
のTELあり

		分 野	社会教育部門
項 目	(3)社会教育施設の管理運営	担 当 課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	社会教育関係施設の整備事業		
事業の目的	○市民にとって身近な公民館等、社会教育活動の拠点施設の維持管理と整備を図り、施設の利用促進に努める。		
事業の実施状況	<p>○旧松ヶ崎小学校グラウンド脇トイレ修繕2,277千円</p> <p>○有隣館オイルタンク修繕事業 3,802千円</p> <p>○日新館防火シャッター修繕事業 788千円</p> <p>○立志館排水管修繕事業 780千円</p> <p>○シーガル移動観覧席部品交換修繕事業 2,765千円</p> <p>○文化交流館管理運営費(指定管理料、修繕料等) 180,143千円</p> <p>○木のおもちゃ美術館費(指定管理委託料、「あゆの森公園」実施設計委託料、駐車場修景工事等) 34,836千円</p> <p>※令和元年度入館者数：65,317人(目標数：35,000人)</p> <p>○上記のほか、修繕多数実施。</p>		
点検評価及び 説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	<p>○老朽化した社会教育施設の補修・改修等を実施することにより、利用者の安全と快適性の確保など、利用者サービスの向上に資することができた。</p> <p>○多世代交流の木育拠点施設として整備した「鳥海山木のおもちゃ美術館」は、本年も引き続き多くの来館者数を誇り、市民サービス向上に寄与することができた。また、国登録有形文化財旧鮎川小学校の利活用だけでなく、豊富な森林資源の活用、子どもの遊び場の創出にも効果を発揮している。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○各施設において、経年劣化により大規模な修繕が必要となってきていることから、緊急性や市民サービス向上を考慮しながら対応していく。</p> <p>また、修繕については、年次計画などを策定するなど、複数年度の修繕計画も考えていく。</p> <p>○指定管理施設の運営については、指定管理者との連携を図り、効率的・効果的な施設の運営に努める。</p> <p>○「鳥海山木のおもちゃ美術館」は、多世代交流及び木育の拠点として、振興を図っていく。</p>		
学識経験者の意見	<p>○施設は年々老朽化が進むことから、緊急性を意識し計画的に行っていただきたい。</p> <p>○「木のおもちゃ美術館」が県外に周知され、入館者が増加していることを非常に嬉しく思っている。コロナ禍の中、対応に難儀されていると思うが、子どもの遊びの空間として、多世代の交流の場として、木育の拠点施設として、今後も様々な特色ある活動を期待したい。また、「あゆの森公園」と一体となった取組にも期待したい。</p> <p>○カダーレなどの社会教育施設において、コロナ対策がしっかりとされていることに感謝したい。今後も継続して対策を講じていただきたい。</p>		

		分 野	スポーツ振興部門
項 目	(1)生涯スポーツ・レクリエーション・体力づくりの推進	担当課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・各種スポーツ教室、スポーツ大会開催事業		
事業の目的	○生涯スポーツとレクリエーション活動の普及のため、全市またはブロック単位で各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催し、市民のスポーツ振興を図る。		
事業の実施状況	<p>○チャレンジデーへの参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対戦相手：山梨県甲斐市 参加者数67,427人、参加率87.2% <p>○スポーツ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域各スポーツ教室 1,775人 ・スポーツ振興大使スポーツ教室（バレーボール：140人、剣道：90人） ※ナイスアリーナ開館1周年記念として他のスポーツ教室も同時開催（スポーツ振興大使スポーツ教室も含め計 約450人） ・遊泳館水泳教室 年間参加者合計 507人 <p>○市民スポーツ・レクリエーション大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子吉川レガッタ：68クルー ・300歳以上ソフトボール大会：27チーム ・男女混合バレーボール大会：17チーム ・ネオホッケー大会：15チーム ・クロスカントリーレース：378人（新型コロナウイルスの影響により大会中止） <p>○地域間交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国市町村交流レガッタ大会：124(8)クルー（大分県日田市で開催）・奥羽横断駅伝競走大会：25(1)チーム、秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン：33(1)チーム、横荘線メモリーウォーキング：68(37)人、ほか各教育学習課による連携事業の開催 		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	○スポーツ推進委員や体育協会等と連携しての各種スポーツ教室開催により、子供から高齢者までのスポーツ活動を推進するとともに、競技団体との連携による大会運営等、市民のスポーツ活動の推進に積極的に努めた。		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○各地域で開催されるスポーツ教室や大会等について、複数地域でのブロック開催を検討するなど、より多くの市民がスポーツに親しめるような事業運営を図りたい。</p> <p>○全市を対象とした大会が、本荘地域からの参加が中心となっているため、各教育学習課を通じて各地域からの参加を促していきたい。</p>		
学識経験者の意見	<p>○ナイスアリーナを拠点としたスポーツ立市の取組を高く評価するとともに、今後も積極的な取組に期待したい。コロナ禍の中でのスポーツ振興は難しい面もあると思うが、スポーツ推進委員を中心に、子どもから高齢者まで、レクリエーションを含めた広い取組を期待したい。</p> <p>○スポーツ振興大使の協力を頂いて実施している積極的な取組に感謝したい。参加した子どもたちにとって大きな励みになっている事業であり、今後も継続して開催して頂きたい。</p> <p>○今、高齢化が急速に進んでいる。各地域で事業や教室等を開催する場合、複数の地域をブロック化して募集するなど、地域を越えて参加できるような取組を実現するため、近隣教育学習課との連携強化に期待したい。</p>		

		分野	スポーツ振興部門	
項目	(2)スポーツ施設の整備充実	担当課	スポーツ課	
点検・評価対象事業名		・既存体育施設の改修整備等		
事業の目的		○スポーツ・レクリエーション活動の拠点となるスポーツ施設の整備を図り、市民に運動の場を提供し、その有効利用を促進する。		
事業の実施状況		<p>○本荘地域 39,800千円 本荘由利総合運動公園陸上競技場公認更新整備事業 (ウレタン舗装改修工事及び棒高跳び用マット等の購入)</p> <p>○岩城地域 113,952千円 サンスポーツランド岩城野球場大規模改修工事 (スコアボード・観客席・防球ネット等の改修)</p> <p>7,938千円 岩城総合体育館移動式バスケットゴール購入</p> <p>○大内地域 6,804千円 どまらんど大内クレイ舗装修繕</p> <p>○西目地域 2,365千円 B&G西目海洋センター電気設備改修 (変圧器・高圧コンデンサ・高圧ケーブル取替修繕)</p> <p>○4 体育施設のトイレ洋式化修繕 4,287千円 (岩城総合体育館、岩谷体育館、小栗山体育館、サンスポーツランド岩城管理棟)</p>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる			
		○経年劣化等により改修や修繕が必要とされていた施設や設備の改修を年次計画で行い安全性と利便性を進めた。		
今後の課題及び改善策・方向性		<p>○平成30年10月に由利本荘総合防災公園「ナイスアリーナ」がオープンし、今後は「ナイスアリーナ」を拠点にスポーツ振興を推進していくことにしているが、地域の体育施設はそこに住む市民のスポーツ活動拠点となっていることから、順次整備を進めていきたい。</p> <p>○各地域の体育施設は、老朽化等により改修や修繕費用が年々増加してきている。一方で交付税の削減により更に財政的に厳しく予算措置が困難になってきているため有効な助成事業等を活用しつつ、今後は緊急性や安全性、利用頻度の観点等から修繕を必要とする施設の優先順位による整備が求められてくる。</p>		
学識経験者の意見		<p>○サンスポーツランド岩城野球場の老朽化が進み、大規模改修が利用者の願いであった。事業実施に感謝したい。</p> <p>○非常に厳しい財政状況の中でのトイレ洋式化の推進を高く評価したい。今後も効率的で効果的な事業の推進をお願いしたい。</p> <p>○社会体育施設は、社会教育施設と同様、緊急時の避難場所にもなる施設である。避難所としての機能が果たせるよう、今後も計画的な整備に努めて頂きたい。</p>		

		分 野	スポーツ振興部門	
項 目	(3)プロスポーツチームへの支援とチームとの連携によるスポーツ振興	担 当 課	スポーツ課	
点検・評価対象事業名	・プロスポーツを通じたスポーツ振興事業			
事業の目的	<p>○ホームタウンとして、ブラウブリッツ秋田並びに秋田ノーザンハピネッツを支援するとともに、チームと連携して市民にプロスポーツ選手とのふれあいの場を提供し、夢を持ってスポーツに親しむことのできる態勢を整えるとともに、スポーツを通して地域の賑わいづくりや活性化を図る。</p>			
事業の実施状況	<p>○プロサッカーチーム「ブラウブリッツ秋田」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピッチバナー広告料として50万円を支出し支援。 ・サッカースクールの開催や地域貢献事業に対する協力。 ・チャレンジデーサッカー教室の開催：参加57人 <p>○プロバスケットボールチーム「秋田ノーザンハピネッツ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケクリニックの開催：参加93人 ・ホームゲーム開催に伴う大会開催と運営への協力 <p style="text-align: center;">(新型コロナウイルスの影響により中止)</p>			
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり		
	<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	<p>○夢を持ちスポーツに取り組む子どもたちが、1ランク上の競技レベルに達するためには、トップスポーツ選手との直接交流が刺激になり、またトップスポーツ選手から直接指導を受けることにより、目標設定や競技力向上に繋がる。</p> <p>○ナイスアリーナが開館し、秋田ノーザンハピネッツのホームゲームやバドミンントンのトップリーグ戦が本市で開催され、市民はハイレベルの試合を間近で観戦することでスポーツの醍醐味を味わうことができるようになった。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○ブラウブリッツ秋田：H26からJ3加入となり、ホームゲーム開催の全てが秋田市会場となった。今後J2昇格が決定したことから、ホームタウンとしてどのような関わり方となるのか、関係自治体とともに検討が必要。</p> <p>○秋田ノーザンハピネッツ：Bリーグホームゲームの由利本荘市での継続開催へ向けて、チームと連携を密にしながら誘致し、開催が決まった場合は大会開催と運営に協力していく。</p>			
学識経験者の意見	<p>○プロスポーツ選手と直接ふれあう機会を持てることは、夢を持ってスポーツに取り組んでいる子どもたちにとって大きな励みになっている。そして、胸に深く刻まれることであろう。今後も継続して開催して頂きたい。取組を高く評価したい。</p> <p>○今後子供たちが、女子バスケのチーム、「アランマーレ」ともふれあうことができるよう、機会の創出に期待したい。</p>			

		分野	文化振興部門
項目	(1) 芸術文化の振興	担当課	文化課
点検・評価対象事業名	① 芸術鑑賞教室		
事業の目的			
<p>○芸術文化公演等の鑑賞機会が少ない市内在住の全児童・生徒に対し、毎年、各種の公演等を鑑賞し触れることのできる機会の提供を図る。</p> <p>○本市立小学校児童および中学校生徒を対象に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことを目的とする。</p>			
事業の実施状況			
<p>○開催場所：カダーレ</p> <p>*小学校下学年の部（1～3年生） 参加者数：1,550人 ・開催期日：令和元年8月29日（木）～8月30日（金） 3公演 ・上演作品：演劇「いえでででんしゃ」</p> <p>*小学校上学年の部（4～5年生） 参加者数：1,227人 ・開催期日：令和元年9月3日（火） 2公演 ・上演作品：和太鼓「打鼓音」</p> <p>*小学校6年生の部（劇団四季「こころの劇場」） 参加者数：793人 ・開催期日：令和元年10月7日（月） 1公演 ・上演作品：ミュージカル「はだかの王様」</p> <p>*中学校の部（1～3年生） 参加者数：1,697人 ・開催期日：令和元年9月5日（木）～6日（金） 3公演 ・上演作品：和太鼓「和楽器公演」</p>			
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○優れた公演、芸術作品を鑑賞することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことが期待される。</p> <p>○市内小学校14校、中学校10校の全児童・生徒を対象とした鑑賞会の開催。劇団四季「こころの劇場」は、平成28年度よりにかほ市の小学校6年生も招待しており、今年度も4校から189名が参加した。</p> <p>○本格的なホールでの鑑賞を経験する機会の提供と、全校が一堂に会することで市の一体感の醸成にも資する。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性			
<p>○今後も、学校の希望も取り入れながら継続開催に努める。</p>			
学識経験者の意見			
<p>○本物の舞台芸術に触れる機会を持つことは、児童・生徒にとって非常に有意義な、大切なことである。また、市内の児童生徒が一堂に会して実施していることも、意義深い取組である。高く評価したい。</p> <p>○にかほ市の児童生徒とふれあい、一緒に鑑賞の機会を持てることは、非常に良い取組であり、評価したい。</p>			

		分 野	文化振興部門
項 目	(1) 芸術文化の振興	担 当 課	文化課
点検・評価対象事業名	②第15回由利本荘美術展		
事業の目的	<p>○市民が様々な分野の芸術文化に出会い鑑賞できるよう、その機会を創出する。</p> <p>○由利本荘圏域の文化向上のため、美術作家または愛好者のレベルアップを図り、圏域住民の芸術作品への関心を高めることを目的に開催する。</p>		
事業の実施状況	<p>○由利本荘美術展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：カダーレ ギャラリー1+2+3 ・開催期日：令和2年2月1日（土）～2月5日（水） ・出品者数（作品数）：124名 <div style="margin-left: 2em;">絵画28、書道33、工芸25、写真38</div> ・期間中入場者数：1,380人 		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○絵画・書道・工芸・写真の各部門が一堂に会し、由利本荘圏域住民が多様な芸術と出会える機会となった。また、個々の作品の質が高く、総じて展覧会としての充実が見られたことから、来場者からも好評を得た。</p> <p>○各部門からの出品者・作品数は、ほぼ同規模で推移している。</p> <p>○新人の発掘や登用を行い、同時に作品発表の機会を提供した。</p> <p>○実行委員会による、市民主導での開催により、創作活動意識の高揚が図られた。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性			
<p>○継続開催する。</p> <p>○部門を越えた作家同士の交流の場となることから、地域を拠点に活躍する新たな芸術活動や人材育成が期待できる。</p> <p>○引き続き新人の発掘や登用を図る。</p> <p>○更に魅力アップを図るための企画を検討、提案していく。</p>			
学識経験者の意見			
<p>○由利本荘圏域の優れた芸術作品を発表し、鑑賞する場を設けることは素晴らしい取組である。来場者の評価も非常によく、高く評価したい。</p> <p>○優れた芸術家の作品を一堂に会した美術展であることから、今後も芸術作家を目指す若者の励みとなる美術展であり続けるよう、工夫を凝らしながら事業を進めて頂きたい。</p> <p>○子どもたちが、学校で、このように地元で活躍している芸術家の方々から直接指導して頂ける機会を持てれば、素晴らしいと考える。地元芸術家と学校教育・学校行事との結びつきを深める取組について検討していただきたい。</p>			

		分 野	文化振興部門
項 目	(2) 文化財保護活動の推進	担 当 課	文化課
点検・評価対象事業名	民俗芸能団体育成交付金事業		
事業の目的	<p>○市内に伝承されてきた貴重な民俗・伝統芸能を後世に確実に継承していくため、民俗芸能団体が実施する保存継承活動を支援することにより、自主的・自発的に伝承活動を実施できる団体の育成を図る</p>		
事業の実施状況	<p>○交 付 額：462,000円（予算額500,000円） 交付条件：事業対象経費の1/2（10万円上限）</p> <p>○交付団体：6団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋敷番楽保存会：衣装新調（交付額：100,000円） ・本宮獅子舞保存会：衣装新調・後継者育成（交付額：45,000円） ・本海獅子舞番楽天池講中：衣装新調（交付額：27,000円） ・本海獅子舞番楽猿倉講中：衣装新調（交付額：100,000円） ・赤田獅子舞保存会：道具新調（交付額：90,000円） ・貝沢神楽獅子保存会：衣装新調・周知看板更新（交付額：100,000円） 		
点 検 評 価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり	
及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○袴等の衣装新調により季節を問わない公演が可能となる他、道具の新調により、より良い環境下で伝承活動を行えることから、地域住民のみならず、より多くの市民が鑑賞できる機会の増加につながる。</p> <p>○近年活動を復活した団体が、笛等の囃子の指導を受けて後継者育成に取り組んでいるほか、国道沿いに設置した周知看板の更新により、地域の活性化が図られている。</p> <p>○団体の活動がより円滑に運営できるとともに、行政と団体が一体となり文化財を保護しようとする意識が醸成される。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性			
<p>○要望団体が多いことから、継承意識向上のため、継続的に事業を実施する。</p> <p>○団体から要望の聞き取りを行い、必要に応じた円滑な事業運営を行う。</p>			
学識経験者の意見			
<p>○民俗芸能団体が、活力を持って継承活動や芸能発表ができるよう、今後もこの事業を継続し、支援して頂きたい。</p> <p>○民俗芸能は、数百年もの長い間継承されてきた大切なものであり、今を生きる私たちが確実に後世に伝えていく必要がある。そしてそのためには、様々な取組や努力が必要である。今後も事業実施を通して団体の継承意欲の維持、向上に努めて頂きたい。</p> <p>○芸能を若い世代に継承するためには、練習など継承活動を行うための道具（太鼓や笛）も必要になる。この事業は若い世代に継承するためにも必要な事業であり、高く評価したい。</p>			

		分野	教育環境整備部門																											
項目	(1)学校環境適正化の推進	担当課	教育総務課																											
点検・評価対象事業名	「由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画」の推進																													
事業の目的	<p>○ 児童規模において、100人以下の小規模校から800人規模の大規模校まで6校で構成されている本荘地域において、児童の減少が今後も続き、複式学級導入の学校も複数生じてくる可能性を重く捉え、学校間の教育環境の格差を解消し、文部科学省が示している適正規模・適正配置に基づいた均衡ある学校を構築するため、「第二次学校環境適正化基本計画」を平成31年3月に策定し、本荘地域の適正な学校環境の推進に向け、その取組を進める。</p>																													
事業の実施状況	<p>○平成31年3月4日 ・教育委員会 臨時会 「第二次学校環境適正化基本計画」承認。</p> <p>○周知活動</p> <table border="0"> <tr> <td>平成31年</td> <td>1月15日号</td> <td>『広報ゆりほんじょう』掲載</td> </tr> <tr> <td>平成31年</td> <td>1月27日</td> <td>「小友小学校区 説明会」</td> </tr> <tr> <td>平成31年</td> <td>1月28日</td> <td>「石沢小学校区 説明会」</td> </tr> <tr> <td>平成31年</td> <td>2月4日</td> <td>「鶴舞小学校区 説明会」</td> </tr> <tr> <td>平成31年</td> <td>2月7日</td> <td>「尾崎小学校区 説明会」</td> </tr> <tr> <td>平成31年</td> <td>2月19日</td> <td>「鶴舞・尾崎・子吉小学区 説明会」</td> </tr> <tr> <td>平成31年</td> <td>4月15日号</td> <td>『広報ゆりほんじょう』掲載</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>5月17日</td> <td>「本荘地域町内会長協議会」</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>7月5日</td> <td>「石沢小PTA説明」「小友小PTA説明」</td> </tr> </table> <p>○小友小・石沢小統合に向けた取組</p> <p>令和元年 8月19日 ・教育委員会 定例会 「小友小・石沢小の統合及び時期について」 承認 「小友小学校・石沢小学校統合準備委員会設置要綱」施行</p> <p>令和元年10月30日「第1回 小友小・石沢小統合準備委員会」 構成：学校運営協議会・地域振興会・町内会長協議会 集落支援員・PTA・学校 19名 委員長：小友小学校学校運営協議会会長 小友地域振興会会長 須田純悦</p> <p>令和元年12月19日「第2回 小友小・石沢小統合準備委員会」 令和2年 1月30日「第3回 小友小・石沢小統合準備委員会」</p>			平成31年	1月15日号	『広報ゆりほんじょう』掲載	平成31年	1月27日	「小友小学校区 説明会」	平成31年	1月28日	「石沢小学校区 説明会」	平成31年	2月4日	「鶴舞小学校区 説明会」	平成31年	2月7日	「尾崎小学校区 説明会」	平成31年	2月19日	「鶴舞・尾崎・子吉小学区 説明会」	平成31年	4月15日号	『広報ゆりほんじょう』掲載	令和元年	5月17日	「本荘地域町内会長協議会」	令和元年	7月5日	「石沢小PTA説明」「小友小PTA説明」
平成31年	1月15日号	『広報ゆりほんじょう』掲載																												
平成31年	1月27日	「小友小学校区 説明会」																												
平成31年	1月28日	「石沢小学校区 説明会」																												
平成31年	2月4日	「鶴舞小学校区 説明会」																												
平成31年	2月7日	「尾崎小学校区 説明会」																												
平成31年	2月19日	「鶴舞・尾崎・子吉小学区 説明会」																												
平成31年	4月15日号	『広報ゆりほんじょう』掲載																												
令和元年	5月17日	「本荘地域町内会長協議会」																												
令和元年	7月5日	「石沢小PTA説明」「小友小PTA説明」																												
結果：	<p>統合年月：令和3年4月 使用校舎：小友小学校校舎 校名：「小友小学校」 校歌・校章：小友小学校の校歌・校章 ※児童の通学には、路線バス・スクールバスを併用する。 ※現在石沢小学校で行っている、石沢地域の伝統・文化を活かした取組を小友小学校に引き継ぐ。</p>																													

○統合小学校建設に向けた取組

令和元年10月31日 「本荘地域学校再編委員会設置要綱」施行

令和元年12月2日 「第1回 本荘地域学校再編委員会」

構成：学識者・CS・PTA・学校・学校運営協議会・
振興会・町内会長 14名

委員長：秋田県立大学システム科学技術学部長

第二次学校環境適正化検討委員会委員長 松本真一

令和2年2月20日 「第2回 本荘地域学校再編委員会」

令和2年2月27日 「教育委員会 協議会」

令和2年3月9日 市議会「教育民生常任委員会」にて中間報告

学校再編委員会中間報告：

統合小学校の建設予定地は、小中1ユニットの視点、四校からの通学面など総合的に考え、統合対象校のほぼ中間に位置する本荘東中学校周辺が適地と考える。

点検評価
及び説明

目標を上回る

■ほぼ目標どおり

目標をやや下まわる

目標を大幅に下まわる

○ 「第二次学校環境適正化基本計画」に従い、小友小・石沢小の統合に向け、学識者や地域、学校、PTA等で組織する「統合準備委員会」を組織した。

3年をかけて事前に地域と協議してきたこともあり、「統合準備委員会」での協議もスムーズに進めることができた。

また、統合準備委員会に「総務部」と「教育部」を設け、並行して協議を進めてきたことから、地域やPTAの声も結果に反映させることができ、地域の理解を得ながら当初目標を達成することができた成果は大きい。

○ 令和元年度設置した「学校再編委員会」においては、学識者を含む14名の委員が、それぞれの立場から統合小学校の建設予定地について議論し、グループ討議を経て、全会一致で予定地を絞り込むことができた。令和2年度、委員の役職替えによる新たな委員で構成される再編委員会で、重ねて協議することにより、様々な立場、場面から検討していきたい。

今後の課題及び改善策・方向性

○学校統合については、地域やPTAの理解と協力をいただいているところであるが、2年度は通学方法など、具体的な事項について協議する段階に入る。引き続き丁寧に進めていきたい。

○統合小学校については、通学区域を定める段階に入る。2年度は、子吉小学校、尾崎小学校の運営協議議会やPTA等も委員に加え、27名体制で協議をすすめていきたい。

学識経験者の意見

○長い時間を要して丁寧に取り組み、保護者や地域、PTAに様々な機会を設けて説明し、理解と協力を得て目標達成させたことは、高く評価したい。今後もできる限り丁寧に、そして多くの方々の理解のもと、計画を進めて頂きたい。

○計画を進めるにあたっては、「統合準備委員会」や「学校再編委員会」のほか、地域の方々やPTAの意見を丁寧に聞き取り、進めて頂きたい。

		分野	教育環境整備部門				
項目	(2) 学校施設の整備	担当課	教育総務課				
点検・評価対象事業名	①学校大規模改修事業及び学校エアコン設置事業						
事業の目的	<p>○「公共施設等総合管理計画」や「学校環境適正化計画」に基づき、築30年以上経過した老朽化の進む校舎等の大規模改修を行い、学校環境の整備に努める。</p> <p>○夏季の猛暑においても、児童生徒が快適な環境で学習できるよう空調設備を設置し、学習環境の整備に努める。</p>						
事業の実施状況	<p>○本荘北中学校大規模改修事業</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>実績： 平成26年度：大内中学校</td> <td>平成27年度：大内小学校</td> </tr> <tr> <td>平成28年度：西目中学校（H29へ繰越）</td> <td>平成30年度：由利中学校</td> </tr> </table> <p>令和元年度：本荘北中学校大規模改修事業実施設計業務委託 設計業務委託期間： R1. 8. 30～R2. 3. 19 契約金額： 8, 033, 300円 契約相手： 株式会社 工藤設計事務所 改修概要：屋上防水、外壁改修、トイレ洋式化、普通教室の建具・床改修 灯具LED化、FF暖房設置、プール取壊し、駐車場増設 他</p> <p>○小学校10校普通教室エアコン設置事業 鶴舞小、尾崎小、子吉小、岩城小、由利小、岩谷小、大内小、東由利小、西目小、鳥海小の普通教室と特別教室、図書室にエアコンを設置 計118室 本荘の3校 契約相手：加藤施設・本荘設備JV R1.5.24～9.20 112,320,000円 本荘外7校 契約相手：三共設備・山二施設・高橋秋和JV R1.5.24～9.20 187,380,000円</p>			実績： 平成26年度：大内中学校	平成27年度：大内小学校	平成28年度：西目中学校（H29へ繰越）	平成30年度：由利中学校
実績： 平成26年度：大内中学校	平成27年度：大内小学校						
平成28年度：西目中学校（H29へ繰越）	平成30年度：由利中学校						
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる						
<p>○令和2年度から2カ年で本荘北中の大規模改修を行うにあたり、課題であった駐車場不足の解消や渡り廊下の整備など、設計に反映させることができた。</p> <p>○30年度の補正予算として年度末に事業化したエアコン設置事業を元年度に繰り越し、統合や改築を計画している小学校4校を除く10校に対し、計画どおり設置することができた。</p>							
今後の課題及び改善策・方向性							
<p>○令和2年度～3年度：本荘北中学校大規模改修事業に着手</p> <p>○小友・石沢小については、使用する校舎が小友小に決定したことから、令和2年度にエアコン整備を行う。今後改築を予定している矢島小や新山小にも配慮する。</p>							
学識経験者の意見							
<p>○本荘北中学校は、渡り廊下の老朽化や駐車場の不足など課題が多かった。大規模改修工事により、これら課題が解消できたことは、生徒の学習しやすい学びの環境づくりの面でも大きな成果である。高く評価したい。</p> <p>○小学校普通教室へのエアコン設置、またトイレの洋式化事業など、環境の変化に素早く対応し、時期を逸することなく設置、改修できたことを高く評価したい。今後も継続して努めて頂きたい。</p>							

	分 野	教育環境整備部門
項 目	(2) 学校施設の整備	担 当 課 教育総務課
点検・評価対象事業名	②北部学校給食センター整備事業	
事業の目的	<p>○ 全国的に学校給食のセンター化が進められている中、本市においても単独調理場の老朽化が進んでおり、衛生管理基準を満たした給食センターの整備が求められている。徹底的な衛生管理のもと、安全安心な給食を児童・生徒に提供するため、共同調理場（学校給食センター）を整備するものである。</p> <p style="text-align: right;">【学校施設環境改善交付金事業】</p>	
事業の実施状況	<p>対象校：新山小学校 鶴舞小学校 岩城小学校 岩谷小学校 大内小学校 本荘北中学校 岩城中学校 大内中学校</p>	
平成29年度事業	地質調査業務、実施設計業務	
	○地質調査業務委託	H29.7.21～H29.10.31 1,897,560円
	○実施設計業務委託	H29.7.21～H30.5.31 12,960,000円
令和元年度事業	建設工事Ⅱ期（平成30～令和2年度）継続事業の2年目	
	○建築・電気設備・機械設備工事一式	
	工 期：平成30年11月30日～令和2年6月30日	
	業者名：村岡・伊藤建友・塚本特定建設工事共同企業体	
	契約金額：914,112,000円（税込）	
	○厨房機器備品購入（287品目）	
	業者名：株式会社 中西製作所秋田営業所	
	契約金額：212,760,000円（税込）	
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
	○元年度は計画通り進めることができた。外観の建築工事もほぼ完了している。また元年度は、給食受入校の改修設計も行い、順調に業務を完了させることができた。	
今後の課題及び改善策・方向性	<p>令和2年度：建設工事Ⅲ期（電気・機械・厨房機器・外構） 受入校改修工事：令和2年8月（夏季休業中を中心に実施予定）</p> <p>○センターの整備事業に合わせ、学校給食費の公会計化に向けて調整を図り、令和2年度からの実施を目指す。</p>	
学識経験者の意見	<p>○三カ年に及ぶ継続事業において、また本市初の本格的な給食センターの整備において、計画通り二年目の事業が終了し、稼働に向けて着実に進められたことを高く評価したい。子どもたちの安心安全な給食の提供に、今後も引き続き努めて頂きたい。</p> <p>○建設地の地下ボーリング調査の結果、支持層までの深度が場所によって異なること、建設に影響しないか心配していたが、その課題を乗り越え、計画通りに進めてくれている。国の衛生管理基準も厳しくなり、より安心安全な給食が求められている。本市初のセンター建設で様々な課題があると思うが、引き続き努めて頂きたい。</p>	